

2021

5

Vol. 56

社会福祉法人すこやか福祉会

発行日: 2021 年 5 月 1 日 第 56 号

本部事務局 住所: 〒120-0023

東京都足立区千住曙町 4-16

TEL: 03-5813-9251

住みなれたまちで



～保育事業部～
自家菜園が豊作!!
採って、食べて、絵を描いて...

2020 年度卒園のぶどう組さんが育てていた、さやえんどうが豊作だったのでみんなで収穫の体験をしました。
 5 歳児ぶどう組が畑に入っていくと、気になってやってきた 3 歳児も組。まねっこして引っ張ってみてもうまくとれず、
 ぶどう組が「ここを持ってひっぱるの!」と収穫の方法を教えてあげました。

自分で収穫したことで、さやえんどうに興味ที่わき、「これどうするの?」と…。「給食で食べられるようにスジとりたいな」というと、早速、お部屋でチャレンジ! スジの取り方を伝えてもなかなかうまくできず、それでも、何度も何度もチャレンジしていました。さやの中から豆がでてくると「豆が入ってたよ」とビックリした様子でした。

「さやえんどうの絵描きたいな～」という子どもたち。収穫体験を思い出し、さやえんどうとにらめっこしながら絵をかきました。収穫から、調理、そして絵を描き、もちろん最後には給食で、みんなのお腹の中に入って、栄養となるのでした。貴重な体験をした 1 日でした。

さやえんどう収穫後は、いよいよ畑も新年度。野菜づくりに向けて雑草を取り、スコップで土を耕しました。
 そして、何の野菜を育てようかな～とみんなで考え、畑活動のスタートです。
 どんなかえでの畑になるのか、乞うご期待!!



畑をせっせと耕して…
 今度は何を育てようかな??

八潮かえで保育園 石井 良子

収穫したら、
 じ〜っくり観察してお絵かき!!



社会福祉法人すこやか福祉会 2021 年度事業活動計画

第2次5カ年計画＜AreaMovement2025＞を实践し、次代を切り開く経営体質を

2020 年度は新型コロナウイルス感染症が蔓延し、感染予防対策や罹患者対応などに明け暮れ、仕事や会議の形態、「三密」回避やフィジカル・ディスタンス、イベントの自粛・変更などコロナ前とは大きく変わりました。また、地球環境の変化などにより、今後も新興・再興感染症に見舞われる機会や水害等の新たな災害への対応が求められます。利用者や職員の安全を守るために徹底した対策を進め、国や自治体に即効性のある緊急対策を求めるとともに、福祉現場の崩壊につながるあらゆる災害に迅速に対応していくことが求められます。

すこやか福祉会は、第1次5カ年計画(2015～2019 年度)で(株)ファミリーケアの介護事業継承、保育園新設、エリア事業部制の導入による法人運営スタイルの変更など、新たな課題へのチャレンジと経営改善を進めてきました。今年度は、第2次5カ年計画の初年度です。この間、大きく前進した面もありましたが、人材不足や制度改悪の影響で一進一退の状況であるのも事実です。私たちの現在の到達点に確信を持ち、民医連の社会福祉法人としての使命を貫き、次代を切り開く経営体質づくりを進め、更なる発展に向けて奮闘していきましょう。

①「全職員参加の経営」で次代を切り開く安定した経営体質づくり

- 「with コロナ」での持続可能な事業所運営とガバナンスの確立
- 2021 介護報酬改定への機敏な対応
- 不採算事業所対策や資金流出等の緊急改善課題への迅速な対応

②法人運営の新たな段階をめざすために、経営改善のリーダーシップを発揮する幹部の育成

- 役員任期更新の機会に幹部の再配置を行い、5カ年計画を担う世代への交代を図る
- 組織ラインの再編
- 本部事務局の機能と業務の見直し



③社会福祉法人としての役割実践と平和や社会保障拡充・環境問題などに向けた継続的取り組み

- SDGsを推進する当事者として、環境・社会・経済面で負荷軽減に結びつける取り組みを進める
- コロナ禍で明らかになった「いのちと人権」の危機からの転換をめざす活動
- 「新子育て安心プラン」での新たな規制緩和に抗し、保育士の処遇改善や負担軽減を求める運動
- 憲法を守るたたかいの一層の前進(改悪の本質を学び、憲法を守る運動の前進)
- 地域における公益的取り組みの実践(災害時の非難支援、利用者負担軽減や生活困窮者への支援)



④様々な関連法規・対策課題を学び、良質かつ適切な福祉サービスの提供と取り組むべき実践課題

- 関連法令や社会的ルールの遵守などコンプライアンス教育の徹底と体制の構築、マニュアルの策定
- 日常的なリスクマネジメントと重大事故の際の初期対応ルールの確立
- 法人・エリア・事業所での事業継続計画(BCP)の作成

⑤活動実践の原点である「職場づくり」と事業活動を担う人材の確保

- 民医連綱領や人権学習に取り組み、経営理念の浸透や「めざす職員像」を構築する
- 私たちの事業の成否がかかる人材の確保と育成(特に離職防止対策の徹底)
- 新卒確保対策と既卒対策、採用コスト削減:安易に人材紹介会社を使わない

⑥「業務効率化」による現行業務の見直しと再構築

⑥経営戦略・人材戦略の一環としての広報PR活動、ブランド戦略の具体化

- ブランディング強化の取り組み
- 広報紙「すみなれたまちで」の徹底した活用と送付先の拡大
- 一貫した宣伝やホームページ等の充実や民医連新聞・いつでも元気等への通信員登録と投稿

2021 年度 統括・エリアマネジャーより ご挨拶

新年度より体制が変わり、今までエリアマネジャーと兼任だった統括マネジャーの兼任を解き、各エリアの連携・管理を強化することとなりました。また、エリアマネジャーの交代もあり、足墨エリアは吉井 暁、埼玉エリアは猪瀬 茜が新任となりました。統括マネジャーおよび各エリアマネジャーより、新年度の目標・取り組むべき課題等について、ご報告いたします

統括マネジャー 落合 直人



4 月より統括マネジャー専任となりました落合です。従来は埼玉エリアマネジャーとの兼務で、法人全体の運営まで管理することができない状況でした。

今後は、さらに広い視野をもち各エリアの状況を理解しながら、法人全体の運営に関わっていかなければなりません。大変な重責であると認識しています。各エリアマネジャーを支え、また私自身も支えてもらい、各事業所の皆様とも協力しながら、最善を尽くしたいと思っています。

新型コロナのワクチン接種も進んでいきますが、新型コロナの対応は気を抜けない状況が続いています。介護報酬改定の対応、感染症や自然災害に対応したBCPの作成、介護支援ソフトの本格運用等々、課題は山積です。優先順位をつけ関係者と協力しながら対応を進めます。

以前に、認知症介護実践者研修で認知症の方への対応は「合わせ鏡」であるということを知りました。職員が落ち着かなくケアしていると認知症の方も落ち着かなくなることです。人間関係も同様に「合わせ鏡」であり、「好き」には「好き」が返り、「嫌い」には「嫌い」が返ってきます。「あなたはこの部分が課題だけれど、こんなに良い所がある」。良い所に目を向けて相手に伝えることで、自分自身にも返ってくるのではないかと思います。

コロナ禍で緊張感が続いている今だからこそ、好循環の「合わせ鏡」で、今まで以上に働きやすい職場作りができると良いと思います。



湾岸エリアマネジャー 中野 一仁



湾岸エリアマネジャーの中野一仁です。2017 年 10 月から始まったすこやか福祉会のエリア事業部制も 3 年半が過ぎ、私も湾岸エリアのエリアマネジャーとして 3 年半が経過しました。そして 2021 年の新年度も引き続きで就任させていただくことになりました。

湾岸エリアは港区、江戸川区、江東区の 3 つの地域で形成されていて、事業所ごとの距離も離れていることから「エリア」としてのチーム作りが当初からの課題でした。しかし、始まってみると、各地域での介護体験やお祭りは各事業所から職員が参加し盛り上げてくれたり、実地指導など事業所のピンチにも他事業所から応援にきて協力するなど、どこのエリアにも負けないチーム連携が見られました。他事業部のことは分からないこともあります。どこかの事業所が困っている時は、労いのメッセージを送るなど支え合う行動が自然と見られるエリアです。

2019 年度、私は介護現場で働くすべての職員に仕事を楽しくしてほしい、楽しむことが質の高いケアに繋がるという想いを込めて、エリアのスローガンに「CEW～介護を楽しめる職場作り～」を掲げました。2021 年度は次のステップに進みます。スローガンは「可能性を信じる、能力を引き出す職場作り」です。一人の職員の大きな努力ではなく、全職員でのレベルアップを目指していきたいです。

※小規模多機能事業部のコンプライアンスマネジャーも兼任となります。

1 年間よろしくお願いします。

葛飾エリアマネジャー 江川 慎吾



私自身、今年度 4 月で葛飾エリアマネジャーになり、3 年目を迎えます。今年度からグループホームコンプライアンスマネジャーも兼任させていただくことになりました。改めて、よろしくお願いいたします。

2021 年度は、介護保険改定、介護ソフト導入、葛飾やすらぎの郷の大規模修繕等、たくさんの課題と向き合っていかなければならない 1 年です。今回の介護報酬改定では、感染症、自然災害に対応した BCP 作成が義務付けられています。早急に取り組むべき課題と考えています。



また介護ソフト導入は、通所・グループホーム・小規模多機能は、ほのぼの導入、訪問介護は、ケアウイング導入が始まっています。現場で運用して、新しい時代に対応していかなければなりません。一緒に乗り越えていけたらと思っています。葛飾やすらぎの郷の大規模修繕は、計画的に実行して、あおと福祉の家、かなまち福祉の家も同様に修繕すべき箇所がありますので、検討する時期に来ていると感じています。

毎年思うことは、すこやか福祉会で働いていることを誇りに思う職員が増えるようにしていきたいと思っています。様々な活動制限がかかる中で、職員自身の考えや介護に対する思いを一緒に形にすることが誇りを持つきっかけとなるように、励んでいきたいと思っています。

昨年度は、コロナ禍で、地域との交流、外出の制限、目に見えない不安を抱えながらの 1 年間でした。今後も、新型コロナウイルス対応に気が抜けない日々がしばらくは続きそうです。介護職員一人ひとりの努力で、大きなクラスターは避けられてきました。今後も一緒に感染予防対策を徹底して安全・安心な介護を提供できるように一緒に考えていければと思っています。

今年度もよろしくお願いいたします。

足墨エリアマネジャー 吉井 暁 <新任>



4 月 1 日より足墨エリアマネジャーになりました吉井暁です。この法人に就職してから 3 月までは通所介護で働いてきました。出産、育児との両立、周りのサポートを受けながらの役職としての仕事と本当にこの法人では沢山学ばさせて頂いたと思います。

エリア制になり、1 事業所の所長として足墨エリアで 2 年間仕事をさせて頂きました。この 2 年間でエリアの会議で話し合われる内容はどんどん充実したものになり、参加している所長の方々が成長していくのを強く感じていました。事業所の課題を抽出し、出来ることから取り組んでいく。上手いかなければまたそれを分析し再挑戦していく。事業運営には大事なことです、課題は自分たちが向き合おうとしなければなかなか見つけれないものでもあります。反面課題が抽出でき、取り組むことが見えてきた時の所長の顔はとても頼もしい表情に変わっていきます。



利用者様を見てきて、この方々が元気に少しでも楽しんで生活ができることを目標に課題を抽出し取り組んできた私が、現場から離れた所で何が出来るのか不安でもありましたが、着任してまだ数日の間でも、所長の方々の奮闘が目に見え、それは今までとは明らかに広い視野での情報となり刺激を受けています。前向きにを忘れずに私もこの仕事に挑戦していこうと思います。

埼玉エリアマネジャー 猪瀬 茜 <新任>



今年度より埼玉エリアマネジャーとなりました猪瀬です。2000 年にファミリーケアみさとへ入社し、異動しながら戻り、ずっと埼玉エリアで訪問介護をしてきました。人に沢山関わられるこの仕事は何年やっても正解！？を出すのが難しく、奥深く、日々悩み・・・喜び合う。

喜怒哀楽、理由は様々ですが、いつも支えてくれるのは一緒に働いている仲間達で、そんな訪問介護が好きで、今まで続けてくる事が出来ました。



入職した時、「人は宝」と教えてもらいました。今でも変わらず大切にしていますが、さらに加わったのは「みんながいるから頑張れる」です。

入職した時は今よりもパソコンの性能も悪く、時間のかかるものでしたが、求められる書類も少なく、様々な部分で余裕があったと思います。今は介護保険という制度の縛りがどんどん複雑化し、「守らなくては行けない」事と、「利用者様の希望を聞きたい」事の板挟みが増え続けています。まさに今回の改定でも、各事業それぞれの加算が増えていきます。利用者様の負担も増えます。私達は負担減や使いやすい介護保険制度にして欲しい事を訴え続けていきます。と同時に職員個々の良さを共有・尊重し、より良いサービス提供が出来る様な仕組みづくりをしていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。



2021 年 4 月 新所長よりご挨拶

ファミリーケアみさと 所長 山崎 加奈



4 月からファミリーケアみさとの所長になりました、山崎加奈です。高校卒業した 2013 年 4 月にすこやか福祉会に入職し、同時に就活ヘルパー制度を利用して千住介護福祉専門学校に入学しました。在学中は葛飾やすらぎの郷に所属、卒業とともにファミリーケアみさとへ異動して 7 年目になります。

当初、訪問介護は施設等で経験を積んでからと思い込んでいた部分があり、近くに職員さんの居ない在宅で利用者様と一対一になる事に不安でいっぱいでした。

ですが、職員や利用者様、そのご家族が優しく、不安な気持ちを相談しやすい環境に恵まれ、すぐに訪問介護でのやりがいを感じる事ができました。6 年間ではまだまだ学び足りない事も多く、今は職員に支えられている未熟な私ですが、1 日でも早く所長として一人前になれるよう頑張ります。大事に育ててくれたみさとの温かい雰囲気を守り、



職員の皆さんが長く働き続けられ、利用者様が安心して任せられる事業所で在り続けるように努めてまいります。これからよろしくお願いいたします。

デイサービスセンター采女の里 所長 栗原 一樹



デイサービスセンター采女の里の所長となりました。栗原一樹です。

入職して 10 年の節目の年に 1 事業所の所長として任につき、さらなるステップアップの機会を与えられ、今までの経験を糧に運営してまいりたいと思います。これまで、港区にあるデイサービスで 8 年、足立区のデイサービス、グループホームで 1 年を経験して、昨年の 10 月から埼玉県三郷市にあるデイサービスセンター采女の里へ異動となりました。異動ごとに北へ北へ。

地域ごと業種ごと施設ごとの違いを学び介護の奥深さと幅広さを知る経験をしてまいりました。

介護事業所の役職としても初めての経験で自分が責任者としてデイサービスを運営していくことが出来るのか不安もありますが、利用者様の安全を第一に采女の里の発展に尽力したいと思います。

介護以外では東都協議会の平和委員会(名称:協議会ピースアクション)の役員も任せられ、社保・平和を中心にオンラインを活用して学習会など毎月行っています。

感染症が流行る前には平和に関する学習会や映画会、フィールドワークを毎年企画し職員の方が、今の日本がある背景や歴史、現状を伝える活動をしていました。今後も企画会議を重ね実施に向けて動いていきます。

1 人の民医連職員 1 人の介護士として未熟な部分もありますが、利用者様や職員の生活を支える介護、活動が大切だと思っています。

よろしくお願いいたします。



寄付のお礼

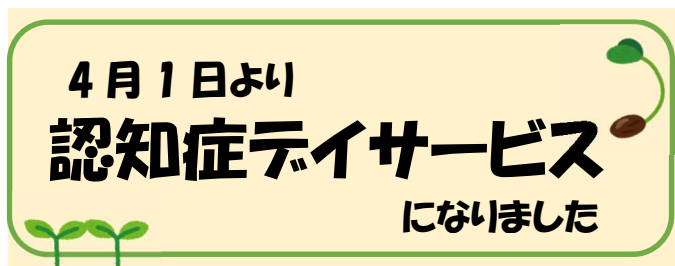
常日頃から当法人の社会福祉事業にご協力・ご支援いただき、感謝申し上げます。この間、貴重なご寄付を多くの方々からいただきました。心からお礼申し上げます。

すこやか福祉会 2020 年度寄付金収入総額

3,348,832 円

施設の充実に役立つよう、大切に活用させていただきます。高齢になっても、障がいがあっても、安心して住みなれた地域に住み続けることが可能になるよう、また「いつでもどこでも誰でも安心してサービスが受けられること」ができる介護保障の実現のために、役職員一同、これからも奮闘していく所存です。

どうぞ今後とも、今までと変わらないご支援・ご協力を重ねてお願い申し上げ、お礼にかえさせていただきます。



デイサービスセンターかねがふち(以下、デイかねがふち)は、2021 年 4 月 1 日より、地域の高齢者の方が認知症状等の様々な状況においても安心して生活が続けることが出来るよう支援を提供する事業所として、『通所介護』より『認知症対応型通所介護』へ業種変更し新たなスタートをきりました。

その理由としましては、デイかねがふちが位置しているうめわか地域(堤通、墨田、東向島4丁目)の高齢化率は墨田区内でトップである事。またデイかねがふちは同じ建物内にケアハウス、訪問看護ステーション、訪問介護事業所が、隣接する建物にグループホーム、診療所、薬局があり、常日頃より在宅調整会議等が開催され、スタッフが連携してサービスを提供出来るという強みがある事等があります。

4 月を迎え新しいデイサービスでは定員が20名から12名と変更となりました。現在の利用者様は全員以前よりデイかねがふちを利用されている方で中には「こちらに通うのがもう生き甲斐みたいになっています。」と話される方もいらっしゃる。継続して利用して下さる利用者様と共に、デイかねがふちでの時間を明るく楽しいものにしたいと思っています。スタッフ一同邁進して参ります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

デイサービスセンターかねがふち
所長 伊部 紀江



＜動画・メッセージ部門 優秀賞受賞＞

東京都社会福祉協議会主催の『東京の介護って素晴らしいグランプリ』にて、動画部門でデイサービスセンターかねまちの“裸足”で活動するデイサービスの取り組みが、メッセージ部門でグループホーム青戸の紙屋 友信さんが優秀賞を受賞しました。

こちらのグランプリには、ケアワーカー魅力発信委員会のメンバーで投稿しましたが、まさに委員会で行っている介護職の魅力や当法人の取り組みについての日々の発信が評価された結果だと思います。

【動画部門】

デイサービスセンターかねまち
“裸足”で活動するデイサービスの取り組み



↑ 動画はこちらから

▼URL: <https://youtu.be/pyRy6sqUkVQ>

【審査員・アンケート回答者からのコメント】

※一部抜粋

- 靴を履かないデイサービスは新鮮でした。こういう取り組みは、新しい利用者獲得にもなるし、学生さんにも刺激的ではないかと思います。(審査員)
- 施設のイメージがすぐ分かる、デイサービスの支援者側の視点がよく理解できる。(審査員)
- 出演されている皆さん、音楽やテロップの書体など全体的に可愛らしい雰囲気が伝わってきました。施設として大切にされていることが、ナレーションと実際の映像でとても良く伝わってきました。(審査員)
- 子供の裸足の幼稚園などは聞いたことがあるが、高齢者の裸足での取り組みは初めて知り、魅力的だった。(一般)